



図2 カリウム添加と遺伝子改変の組合せ

嫌気・暗条件下の培養において、酢酸合成酵素 AckA と RNA ポリメラーゼシグマ因子 SigE の 2 つの遺伝子改変株にカリウムを添加したところ、対照株に比べコハク酸では約 11 倍、乳酸では約 46 倍と大きく生産量が向上した。